



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年10月31日
上場取引所 東・大

上場会社名 三洋化成工業株式会社
コード番号 4471 URL <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 孝夫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員総合事務本部長 (氏名) 大西 亨 TEL 075-541-6153
四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	70,681	△0.5	2,986	△11.5	3,456	△17.5	1,910	△22.6
24年3月期第2四半期	71,031	5.6	3,375	△35.2	4,191	△24.6	2,468	△23.1

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 611百万円 (△69.6%) 24年3月期第2四半期 2,013百万円 (△16.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	17.32	—
24年3月期第2四半期	22.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第2四半期	150,984	89,898	57.5	787.34
24年3月期	149,196	90,526	58.5	791.46

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 86,840百万円 24年3月期 87,296百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
25年3月期	—	7.50			
25年3月期（予想）			—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	153,000	8.5	8,300	44.0	9,000	29.3	5,300	43.1	48.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 4 「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	117,673,760株	24年3月期	117,673,760株
25年3月期2Q	7,378,105株	24年3月期	7,375,316株
25年3月期2Q	110,296,701株	24年3月期2Q	110,302,806株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(6) セグメント情報等	11
4. 補足情報	13
四半期ごとの業績推移	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(4月～9月)におけるわが国経済は、震災復興需要を背景に緩やかに回復しつつありましたが、長期化する円高や欧州債務問題をめぐる不確実性が依然として高い中、中国経済の成長率鈍化とともに世界景気の減速感が強まるなど、厳しい状況が続いております。

化学業界におきましては、円高の継続に加え需要の減退や原燃料価格の先行き不透明感が強まるなど経営環境は厳しい状況にあります。

このような環境下における当第2四半期連結累計期間の売上高は、706億8千1百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

利益面では、売上高の減少と原燃料価格の上昇などにより、営業利益は29億8千6百万円(前年同期比11.5%減)、経常利益は34億5千6百万円(前年同期比17.5%減)、純利益は19億1千万円(前年同期比22.6%減)といずれも前年同期比で減益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<生活・健康産業関連分野>

生活産業関連分野は、液体洗剤用界面活性剤やヘアケア製品用界面活性剤などの需要が低調に推移したこと、およびポリエチレングリコールなどの製品において東日本大震災の影響による応援(受託)生産が無くなったこともあり、低調な売上高となりました。

健康産業関連分野は、紙おむつ用高吸水性樹脂の世界的な需要拡大を受け、昨年6月中国で増設した年間生産能力7万トンの高吸水性樹脂製造設備の稼働が寄与し、売上高が大幅に増加しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は266億6百万円(前年同期比3.8%増)となりましたが、営業利益は原燃料価格の上昇や固定費の増加により11億7千6百万円(前年同期比29.9%減)となりました。

<石油・輸送機産業関連分野>

石油・輸送機産業関連分野は、国内の自動車生産が回復したことにより、自動車シートなどに使われるポリウレタンフォーム用原料は、国内向け売り上げが大きく増加しましたが、イランへの輸出を自粛したことなどで海外向けが振るわず横ばいとなりました。一方、潤滑油添加剤が省燃費対応エンジンオイル用潤滑油の需要拡大やこれに適した新製品の上市で大きく売り上げを伸ばしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は169億1千万円(前年同期比9.4%増)、営業利益は5億7千7百万円(前年同期は4千4百万円)となりました。

<プラスチック・繊維産業関連分野>

プラスチック産業関連分野は、塗料・コーティング用薬剤などの拡販がありましたが、電子部品搬送トレーなどに使用される永久帯電防止剤の需要が低迷を続けていることに加え、一部製品において東日本大震災の影響による応援(受託)生産が無くなったこともあり、売り上げは横ばいとなりました。

繊維産業関連分野は、合成皮革・弾性繊維用ウレタン樹脂の需要が低調に推移し、さらに、欧州市況の悪化を受け、中国を中心とした海外向けのガラス繊維用薬剤や炭素繊維用薬剤の需要が減少したことなどにより、売上高は大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は87億5千5百万円(前年同期比9.7%減)、営業利益は10億1千7百万円(前年同期比20.9%減)となりました。

<情報・電気電子産業関連分野>

情報産業関連分野は、粉砕トナー用バインダーが欧州不況などにより需要が低調に推移したものの、重合トナー中間体ポリエステルビーズは生産拠点の鹿島工場(茨城県神栖市)が東日本大震災により被災した影響が解消されたことなどにより、売り上げを伸ばしました。

電気電子産業関連分野は、FPD(フラットパネルディスプレイ)用樹脂の需要が減少したことに加え、アルミ電解コンデンサ用電解液やシリコンウエハ製造用薬剤の需要が低迷を続けているため、売上高が大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は101億4百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益は2億7千5百万円(前年同期比39.6%減)となりました。

<環境・住設産業関連分野他>

環境産業関連分野は、主力の高分子凝集剤において新製品の本格的販売を開始したことに加え、東日本大震災のため十分な生産・出荷ができなかった影響が解消されましたが、需要が低迷し、売り上げは横ばいとなりました。

住設産業関連分野は、家具・断熱材などに用いられるポリウレタンフォーム用原料の海外向け販売が低調に推移しました。また、建築シーラント用原料やセメント用分散剤原料の需要は堅調でしたが、一部製品において東日本大震災の影響による応援（受託）生産が無くなったこともあり、売上高は大幅に減少しました。

以上の結果、当セグメントの売上高は83億5百万円(前年同期比11.5%減)となりましたが商品構成の良化もあり、営業損益は5千9百万円の損失(前年同期は8千8百万円の損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、時価評価による投資有価証券の減少はあったものの、借入による現金及び預金の増加などにより、前連結会計年度末に比べて17億8千7百万円増加し1,509億8千4百万円となりました。

また、純資産は前連結会計年度末に比べて6億2千7百万円減少し898億9千8百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末から1.0ポイント低下し57.5%となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末残高と比較し14億5千2百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は108億1千3百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、72億6千8百万円(前年同期は36億9千6百万円の増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益32億3千2百万円、仕入債務の増加12億1千9百万円、減価償却費43億1千9百万円などによる資金の増加が、たな卸資産の増加17億4千1百万円などによる資金の減少を上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、60億6千2百万円(前年同期は54億2千9百万円の減少)となりました。これは、固定資産の取得に59億5千4百万円を支出したことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、3億3千4百万円(前年同期は11億9千9百万円の減少)となりました。これは配当金の支払い8億2千7百万円などにより資金が減少する一方、短期借入金により13億5千3百万円資金が増加(純額)したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

円高や欧州債務問題、原燃料価格の動向に加え、中国経済の成長率鈍化とともに世界景気の減速感が強まるなど業績の下振れ懸念はありますが、当第2四半期累計業績等の状況をふまえ、平成24年4月27日に公表した連結業績予想は変更しておりません。

なお、平成24年4月27日に公表した連結業績予想に対する当第2四半期累計業績の進捗率は、下表の通りです。

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
第2四半期累計連結業績予想 (進捗率(%))	73,000 (96.8)	3,400 (87.8)	3,800 (91.0)	2,100 (91.0)
通期連結業績予想 (進捗率(%))	153,000 (46.2)	8,300 (36.0)	9,000 (38.4)	5,300 (36.0)

※ 業績予想は発表日時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,360	10,813
受取手形及び売掛金	42,567	42,229
商品及び製品	8,513	10,621
半製品	4,089	3,806
仕掛品	516	363
原材料及び貯蔵品	3,965	4,062
繰延税金資産	1,021	1,011
その他	871	1,174
貸倒引当金	△36	△35
流動資産合計	70,869	74,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,919	16,112
機械装置及び運搬具(純額)	24,267	24,108
土地	8,469	8,473
建設仮勘定	4,534	5,569
その他(純額)	1,252	1,198
有形固定資産合計	54,443	55,462
無形固定資産		
ソフトウェア	655	621
その他	384	380
無形固定資産合計	1,039	1,001
投資その他の資産		
投資有価証券	21,436	19,075
長期貸付金	3	2
繰延税金資産	304	314
その他	1,145	1,126
貸倒引当金	△45	△46
投資その他の資産合計	22,843	20,471
固定資産合計	78,326	76,936
資産合計	149,196	150,984

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,515	28,778
短期借入金	4,911	6,308
1年内返済予定の長期借入金	3,398	3,232
未払費用	3,141	3,436
未払法人税等	330	937
賞与引当金	1,177	1,418
役員賞与引当金	60	40
設備関係支払手形	2,810	2,093
その他	3,511	3,451
流動負債合計	46,854	49,696
固定負債		
長期借入金	6,927	7,304
繰延税金負債	367	—
退職給付引当金	2,953	2,622
役員退職慰労引当金	630	473
その他	936	989
固定負債合計	11,815	11,388
負債合計	58,670	61,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	12,194	12,194
利益剰余金	64,623	65,706
自己株式	△5,698	△5,699
株主資本合計	84,170	85,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,329	3,670
為替換算調整勘定	△2,203	△2,082
その他の包括利益累計額合計	3,126	1,587
少数株主持分	3,229	3,058
純資産合計	90,526	89,898
負債純資産合計	149,196	150,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	71,031	70,681
売上原価	58,343	58,451
売上総利益	12,688	12,230
販売費及び一般管理費	9,313	9,244
営業利益	3,375	2,986
営業外収益		
受取利息	31	24
受取配当金	210	312
持分法による投資利益	585	309
不動産賃貸料	169	164
その他	115	141
営業外収益合計	1,113	952
営業外費用		
支払利息	124	170
たな卸資産廃棄損	24	179
為替差損	91	56
その他	56	76
営業外費用合計	297	482
経常利益	4,191	3,456
特別利益		
投資有価証券売却益	0	66
固定資産売却益	0	1
受取保険金	58	42
補助金収入	157	—
特別利益合計	216	110
特別損失		
固定資産除却損	157	312
投資有価証券評価損	2	20
その他の投資評価損	—	0
貸倒引当金繰入額	1	1
特別損失合計	161	334
税金等調整前四半期純利益	4,246	3,232
法人税等	1,279	1,112
少数株主損益調整前四半期純利益	2,967	2,119
少数株主利益	498	209
四半期純利益	2,468	1,910

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,967	2,119
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△986	△1,658
為替換算調整勘定	33	150
その他の包括利益合計	△953	△1,508
四半期包括利益	2,013	611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,481	372
少数株主に係る四半期包括利益	532	238

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,246	3,232
減価償却費	4,383	4,319
固定資産除却損	157	312
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△152	241
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△312	△330
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△157	△157
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△48	△20
受取利息及び受取配当金	△242	△336
支払利息	124	170
持分法による投資損益(△は益)	△585	△309
固定資産売却損益(△は益)	△0	△1
投資有価証券売却損益(△は益)	△0	△66
投資有価証券評価損益(△は益)	2	20
その他の営業外損益(△は益)	△352	△215
売上債権の増減額(△は増加)	△2,511	395
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,546	△1,741
その他の資産の増減額(△は増加)	△314	△648
仕入債務の増減額(△は減少)	2,906	1,219
未払消費税等の増減額(△は減少)	△149	146
未収消費税等の増減額(△は増加)	28	7
その他の負債の増減額(△は減少)	163	320
小計	4,640	6,559
利息及び配当金の受取額	611	1,016
利息の支払額	△124	△170
その他	346	35
法人税等の支払額	△1,776	△172
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,696	7,268
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△12	—
固定資産の取得による支出	△5,262	△5,954
固定資産の売却による収入	1	1
投資有価証券の取得による支出	△23	△3
投資有価証券の売却による収入	0	107
貸付けによる支出	△0	△1
貸付金の回収による収入	0	1
その他	△132	△213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,429	△6,062

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	1,032	1,353
長期借入れによる収入	608	2,000
長期借入金の返済による支出	△1,680	△1,779
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	△826	△827
少数株主への配当金の支払額	△330	△410
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,199	334
現金及び現金同等物に係る換算差額	△132	△88
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△3,064	1,452
現金及び現金同等物の期首残高	12,044	9,360
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,979	10,813

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康産業関連分野	石油・輸送機産業関連分野	プラスチック・繊維産業関連分野	情報・電気電子産業関連分野	環境・住設産業関連分野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	25,627	15,457	9,699	10,857	9,389	71,031	—	71,031
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	16	—	93	110	△110	—
計	25,627	15,457	9,716	10,857	9,483	71,142	△110	71,031
セグメント利益又は損失(△)	1,677	44	1,285	456	△88	3,375	—	3,375

(注) セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント						調整額	合計
	生活・健康産業関連分野	石油・輸送機産業関連分野	プラスチック・繊維産業関連分野	情報・電気電子産業関連分野	環境・住設産業関連分野他	計		
売上高								
外部顧客への売上高	26,606	16,910	8,755	10,104	8,305	70,681	—	70,681
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	14	—	135	150	△150	—
計	26,606	16,910	8,769	10,104	8,440	70,831	△150	70,681
セグメント利益又は損失(△)	1,176	577	1,017	275	△59	2,986	—	2,986

(注) セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

<参考>

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	62,117	1,885	5,895	1,133	71,031	—	71,031
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,107	41	422	2	2,574	△2,574	—
計	64,224	1,927	6,317	1,136	73,606	△2,574	71,031
営業利益(又は営業損失)	2,711	△110	654	53	3,309	65	3,375

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）（単位：百万円）

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	58,738	1,976	8,654	1,312	70,681	—	70,681
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,968	1	527	—	2,497	△2,497	—
計	60,707	1,978	9,181	1,312	73,179	△2,497	70,681
営業利益(又は営業損失)	2,745	△93	205	55	2,912	74	2,986

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	15,517	(8,279)	4,450	5,419	25,387
II 連結売上高	—	—	—	—	71,031
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合 (%)	21.8	(11.7)	6.3	7.6	35.7

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）（単位：百万円）

	アジア	(うち中国)	アメリカ	その他の地域	計
I 海外売上高	16,004	(9,773)	5,157	3,612	24,774
II 連結売上高	—	—	—	—	70,681
III 連結売上高に占める海外売上高 の割合 (%)	22.7	(13.8)	7.3	5.1	35.1

(注) 1. 海外売上高は、当社(単体)及び連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

2. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

3. 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) アジア : 韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他

(2) アメリカ : 米国、メキシコ、ブラジル 他

(3) その他の地域 : オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中近東 他

4. 補足情報

四半期ごとの業績推移

1. 連結

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
	(平成23年4月～6月)	(平成23年7月～9月)	(平成23年10月～12月)	(平成24年1月～3月)	平成24年3月期
売上高	35,379	35,651	34,850	35,159	141,041
営業利益	2,335	1,039	1,425	961	5,762
経常利益	2,890	1,301	1,858	907	6,958
四半期(当期)純利益	1,508	960	1,054	180	3,704
四半期包括利益又は包括利益	1,841	172	362	1,994	4,370

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成24年4月～6月)	第2四半期 (平成24年7月～9月)	伸び率(%)	
			前年同期(2Q)比	前四半期(1Q)比
売上高	35,929	34,751	△2.5	△3.3
営業利益	1,635	1,350	29.9	△17.4
経常利益	2,245	1,210	△6.9	△46.1
四半期(当期)純利益	1,171	739	△23.0	△36.9
四半期包括利益又は包括利益	949	△338	—	—

2. 単体

前年度

(単位：百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
	(平成23年4月～6月)	(平成23年7月～9月)	(平成23年10月～12月)	(平成24年1月～3月)	平成24年3月期
売上高	24,811	24,855	24,045	24,342	98,054
営業利益	940	255	741	335	2,272
経常利益	1,653	848	1,569	1,101	5,172
四半期(当期)純利益	1,037	736	959	801	3,533

当年度

(単位：百万円)

	第1四半期 (平成24年4月～6月)	第2四半期 (平成24年7月～9月)	伸び率(%)	
			前年同期(2Q)比	前四半期(1Q)比
売上高	24,351	23,195	△6.7	△4.7
営業利益	1,092	437	71.3	△60.0
経常利益	1,877	1,129	33.1	△39.8
四半期(当期)純利益	1,146	1,006	36.7	△12.2